

郡山国道事務所ホームページ



ホームページ・携帯サイトで情報提供しています

<https://www.thr.mlit.go.jp/koriyama/>

郡山国道

検索



出張所通信

郡山国道事務所の各出張所では、工事の進捗状況及び最新の話題などを情報提供しています。ホームページの出張所名をクリックすると閲覧できます。

道路・防災・気象情報

- 道路情報 (郡山国道事務所HP) ※ 路面状況情報
- 雨量情報 (東北地方整備局HP)
- 規制情報 (郡山国道お知らせ情報 (郡山国道事務所HP))
- 地震情報 (気象庁HP)
- 警報情報 (気象庁HP)
- 天気予報 (気象庁HP)

ホームページトップの道路・防災・気象情報をクリックすると上記各項目ページに移ります。様々な情報を確認できますのでご利用ください。

※11月～3月の期間は雪道気象情報を提供します。

X (旧Twitter)

郡山国道事務所では、Xによる福島県中通り(中部・南部)及び会津地域の国道4号、49号に関する防災情報や冬季は冬みち情報を発信しています。ぜひ、ご利用ください。



https://twitter.com/koriyama_mlit

アカウントID:@koriyama_mlit



Xで情報配信しています

地域とのつながりを大切に

・地域づくり相談室 TEL:024-946-0359 ・技術開発相談室 TEL:024-946-0333(代) ・2024年問題対応窓口 TEL:024-946-8166
mail:thr-775-workstyle@k.mlit.go.jp

地域との連携・交流を一層深めるため、地域づくり相談室を設置し、地域づくりの活動を積極的に支援していきます。さらに、地域づくりに関する情報提供や講演等を行っています。

・道の相談室 TEL:024-946-1100 ・道路緊急ダイヤル #9910

「道の相談室」は、道路に関するあらゆる相談・意見・苦情・質問等を受け付ける窓口です。寄せられた意見は各道路管理者が回答をし、速やかに返答する「ワンストップサービス」を行っています。

道路の穴ぼこ、路肩の崩壊などの道路損傷、落下物や路面の汚れなど道路の異状を24時間受け付けています。通話料は無料です。

詳しいお問い合わせはこちらまで



直通ダイヤル

総務課：024-946-8160
経理課：024-946-8161
用地課：024-946-8162
工務課：024-946-8163
調査課：024-946-8164
管理課：024-946-8165
交通対策課：024-946-8167

郡山維持出張所

〒963-8071
福島県郡山市富久山町久保田字大原3番地
TEL 024-932-4486

安積分室

〒963-0107
福島県郡山市安積一丁目150番地1号
TEL 024-947-8160

会津若松出張所

〒965-0052
福島県会津若松市町北町大字
始字北台105番地
TEL 0242-23-1241



〒963-0117
福島県郡山市安積荒井一丁目5番地
TEL 024-946-0333(代)

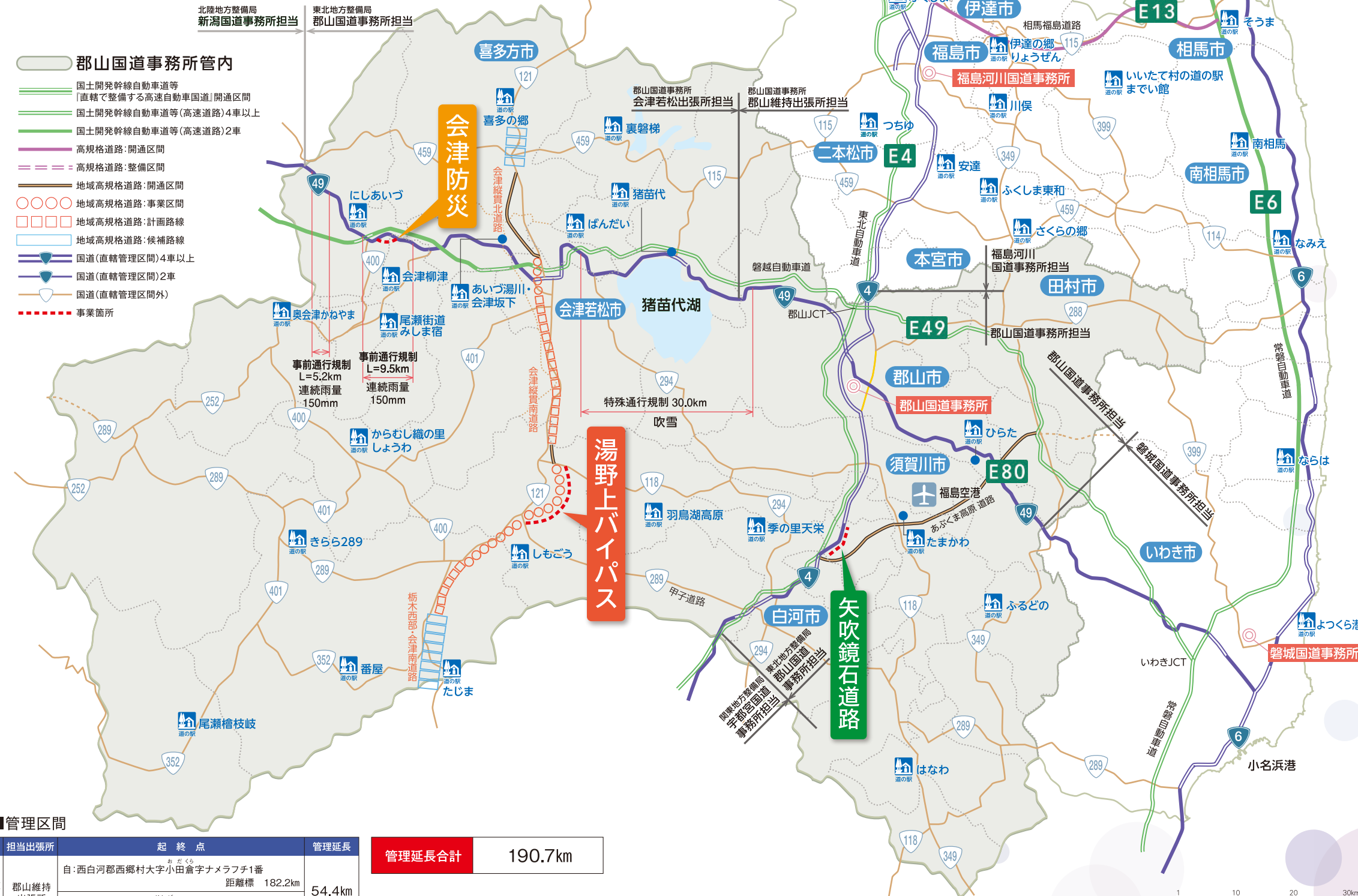


令和6年度 業務概要

地域と共に、これからも。

郡山国道事務所 管理区間

福島県を南北に通る国道4号は東京都中央区を起点とし、青森県青森市まで、総延長838.6kmの道路です。このうち、福島県西白河郡西郷村から福島県本宮市までの54.4kmの区間を管理しています。また、福島県を東西に通る国道49号は福島県いわき市を起点とし、新潟県新潟市まで総延長248.2kmです。このうち、福島県石川郡平田村から福島県耶麻郡西会津町までの136.3kmの区間を管理しています。



■管理区間

担当出張所	起 終 点	管理延長	担当出張所	起 終 点	管理延長	計
国道4号 郡山維持出張所	自：西白河郡西郷村大字小田倉字ナメラフチ1番 距離標 182.2km	54.4km	国道49号 会津若松出張所	自：耶麻郡猪苗代町大字山湯字酸元沢山 距離標 93.6km	77.3km	136.3km
	至：本宮市大字荒井字陣場37番の1 距離標 235.5km			至：耶麻郡西会津町宝坂大字宝坂字高反乙 距離標 174.8km		
国道49号 郡山維持出張所	自：石川郡平田村大字鴫子字札場 距離標 34.8km	59.0km				

管理延長合計 190.7km

Contents

目次

湯野上バイパス 5

起点/南会津郡下郷町大字高階 終点/南会津郡下郷町大字塩生
延長/8.3km



矢吹鏡石道路 6

起点/西白河郡矢吹町北浦 終点/岩瀬郡鏡石町久来石
延長/4.8km



会津防災 7

起点/河沼郡柳津町大字藤 終点/耶麻郡西会津町大字陸合
延長/3.3km



安全で快適な街づくりを支援する道づくり 8

事故ゼロプランの取組み 11

「道の駅」を核とした地域活性化の取組み 12

安全で安心な暮らしを支える 13

老朽化対策 14

地域への防災対策の取組み 19

郡山国道事務所の概要



鏡石広幅の空撮(令和2年2月撮影)

郡山国道事務所では、国道4号の福島県西白河郡西郷村から福島県本宮市までの管理延長54.4km区間と、国道49号の福島県石川郡平田村から福島県耶麻郡西会津町までの管理延長136.3km区間の整備や管理を担っています。これらの区間の整備や管理を通じて、安全で快適な交通の確保に取り組むとともに、地域間の交流の促進、地域活性化、災害への対応を支援します。郡山国道事務所は未来へつづく、暮らしに役立つ「道づくり」を全力を挙げて取り組んでいきます。

基本方針

郡山国道事務所では下記の3分野を基本方針とし、課題に対応した施策の効果の早期発現を図ります。

災害に強い道路ネットワークの機能強化

災害から国民の命と暮らしを守るため、道路ネットワークの機能強化、予防保全型インフラメンテランスへの転換に向けた早期対応が必要な施設の老朽化対策を実施します。

交通の円滑化と国民の安全・安心の確保

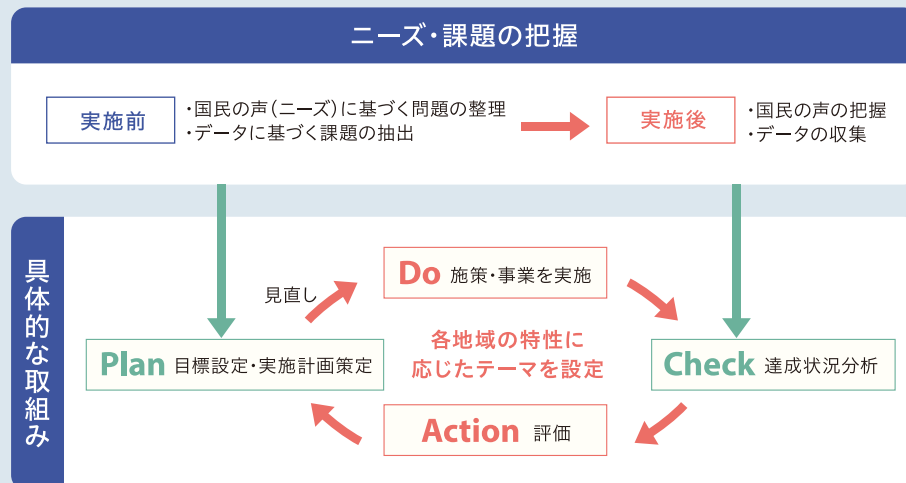
交通の円滑化及び交通事故の削減を図るため、交差点の改良や交通安全施設の整備、付加車線の整備を実施するとともに、道路の防災機能の向上を図るため、無電柱化などを推進します。

地域の活性化

「コンパクト+ネットワーク」の考えに基づき、道の駅による地域拠点機能の強化やスマートICなどの活用による拠点の形成を推進します。加えて、既存ネットワークの使い方を工夫し、賢く使うことにより、地域や拠点間の連携を図ります。

道路行政におけるマネジメントの取組み

課題や国民の声(ニーズ)に的確に対応するため国道事務所としての使命、役割を踏まえ、PDCAサイクルを用いて成果志向の道路行政マネジメントを実践しています。



ゆのかみ

湯野上バイパス

～会津若松市と南会津地域間の連携強化を目指します～

国道121号湯野上バイパスは、地域の連携強化、広域観光を支援する地域高規格道路「会津縦貫南道路」の一部として位置づけられ、本県の縦横6本の連携軸の一つである会津軸を形成する自動車専用道路です。平成24年度より国直轄権限代行事業として着手し、整備の推進を図っています。令和6年度は、橋梁上・下部工工事、改良工事、トンネル工事を推進します。



事業経緯

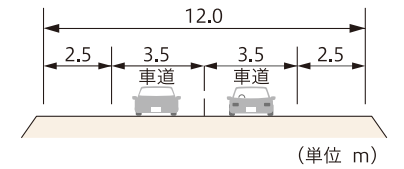
平成19年度/事業着手(福島県)
平成24年度/国直轄事業として新規事業化
平成26年度/用地着手
平成28年度/工事着手

道路規格

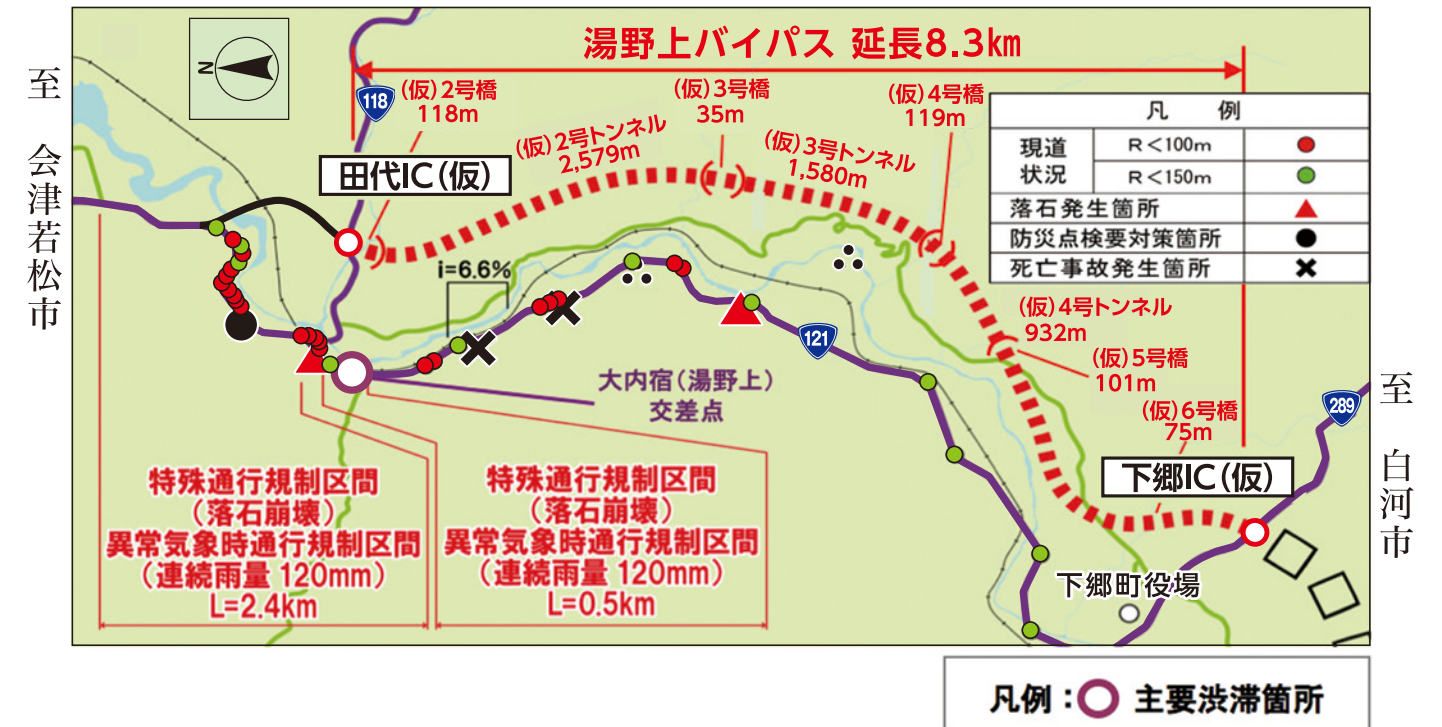
構造規格/第1種第3級
設計速度/80km/h
車線数/2車線

起点/南会津郡下郷町大字高降 終点/南会津郡下郷町大字塩生 延長/8.3km

標準横断面



(単位 m)



期待される整備効果

■ 災害に強くなります。

- 劣悪な隘路区間を回避できるようになります。
- 防災上、対策が必要な箇所を4ヶ所回避できるようになります。
- 大雨や災害による通行規制区間の内3区間(7.2km)を回避できるようになります。

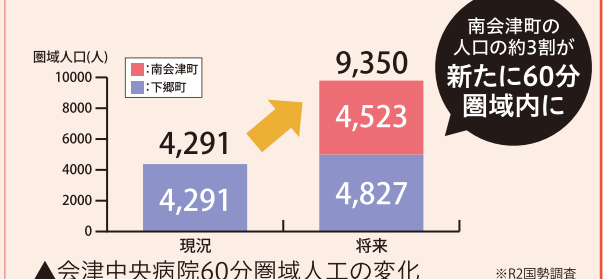


■ 広域連携が強化されます。

- 観光地へのアクセス時間が短縮されます。
- 日光や米沢を含めた広域的な周遊観光エリアが拡大されます。

■ 救急医療を支援します。

- 第三次救急医療施設まで60分以内で搬送できる地域が拡大し、救命率の向上につながります。

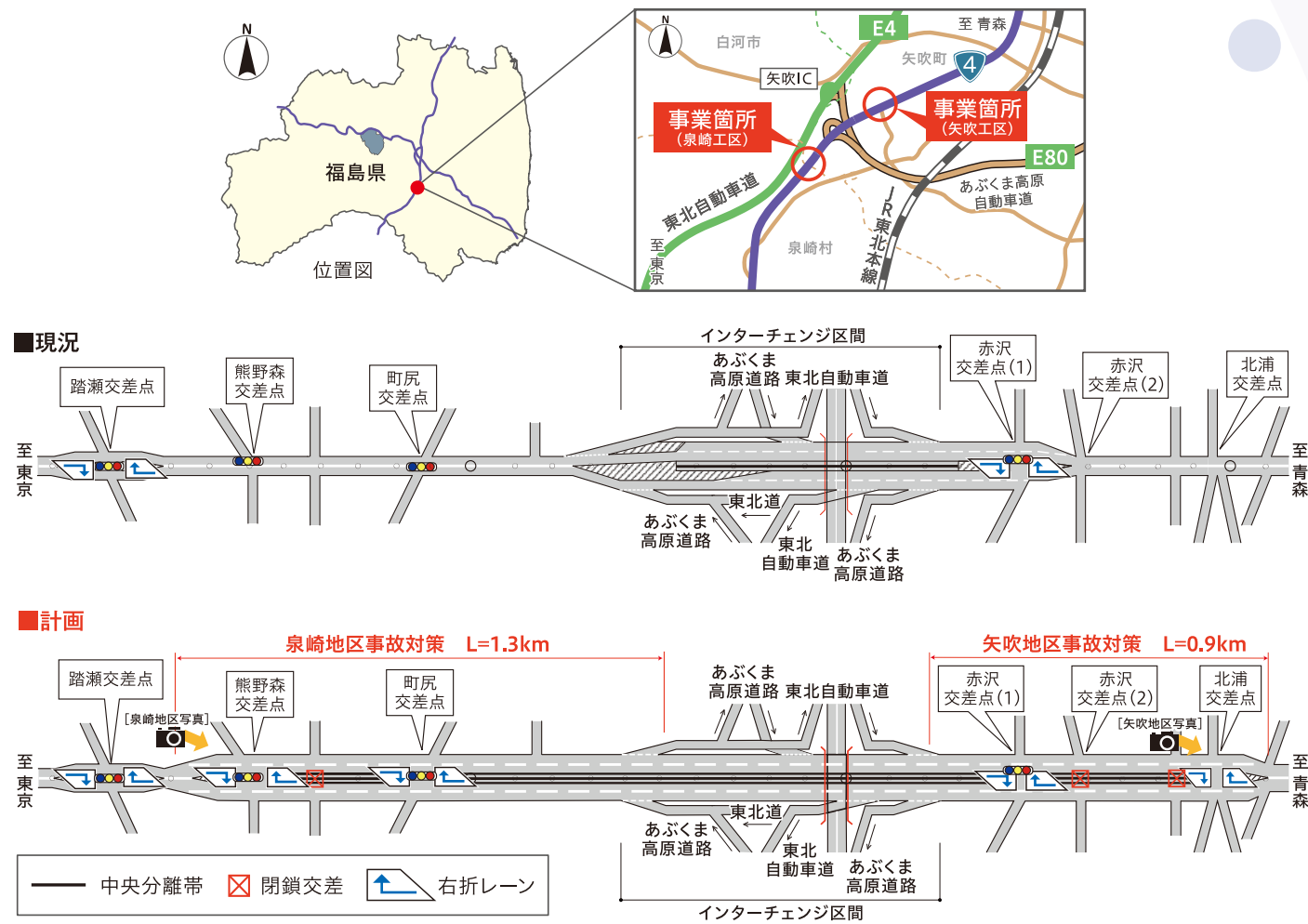


安全で快適な街づくりを支援する道づくり

国道4号 泉崎・矢吹地区事故対策（泉崎村・矢吹町）

右折レーンの新設と付加車線延長により、交通事故の削減を図ります。

国道4号の東北自動車道矢吹IC出入口付近は、あぶくま高原自動車道の出入口もあり、錯綜する車や、無理な追い越しをする車があり、事故の原因となっています。また、その前後は対面2車線区間であり、信号交差点には右折レーンが無く、追突事故の原因にもなっています。そのため右折レーン新設と付加車線の延長により、交通事故の削減を図ります。令和6年度は、用地補償、調査設計、工事を推進します。



[泉崎地区]



右折レーン未整備箇所(熊野森交差点)

[矢吹地区]



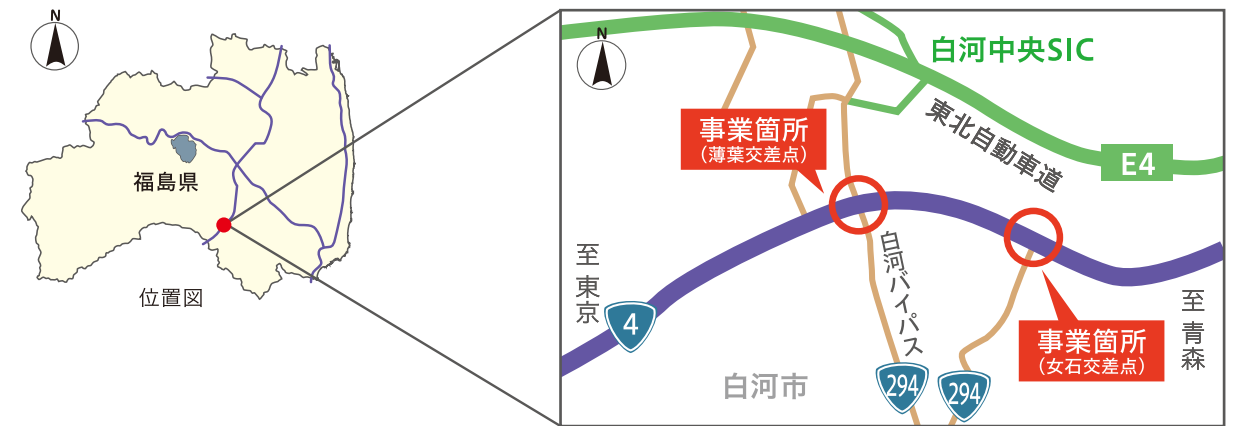
右折レーン未整備箇所(北浦交差点)

国道4号 薄葉交差点改良・女石交差点改良（白河市）

交差点改良により、交通事故の削減を図ります。

国道4号の薄葉交差点・女石交差点は右折車両が後続車両を阻害し、追突事故等が発生しています。そのため、交差点の改良を行い、交通事故の削減及び交通の円滑化を図ります。令和6年度は調査設計を推進します。

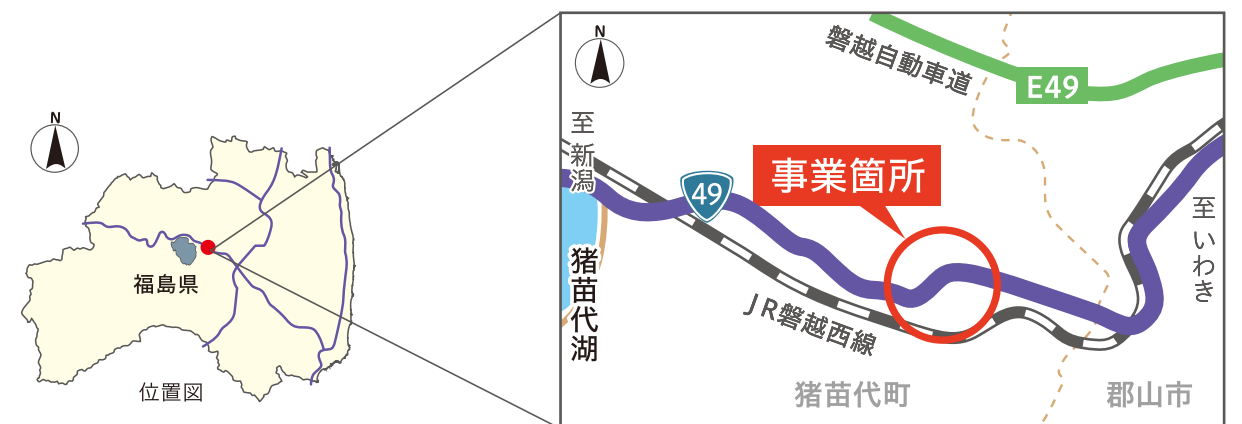
【薄葉交差点】



国道49号 山潟地区線形改良（猪苗代町）

線形改良により交通事故の削減を図ります。

国道49号の山潟地区は、きついカーブの連続で、見通しが悪く、正面衝突事故及び追突事故が多発しています。そのため線形改良を行って対向車線の見通しを改善し、交通事故の削減及び交通円滑化を図ります。令和6年度は調査設計、用地補償、工事を推進します。



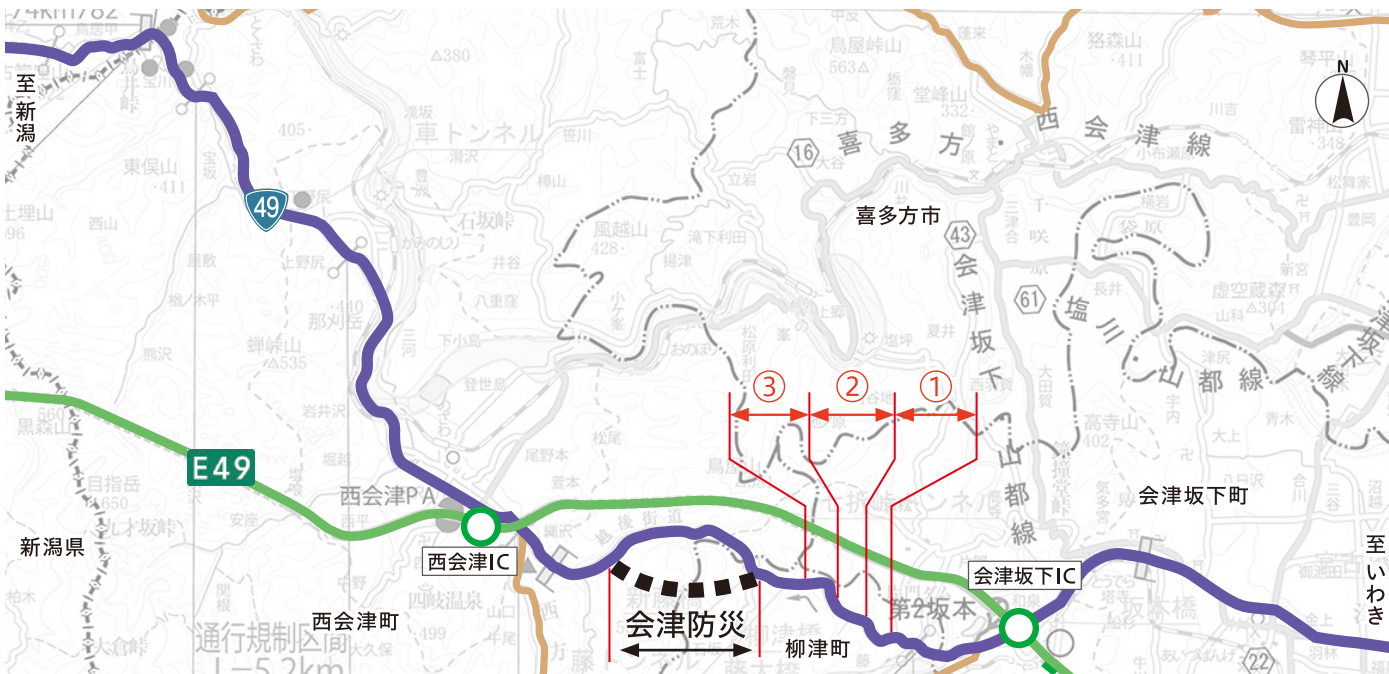
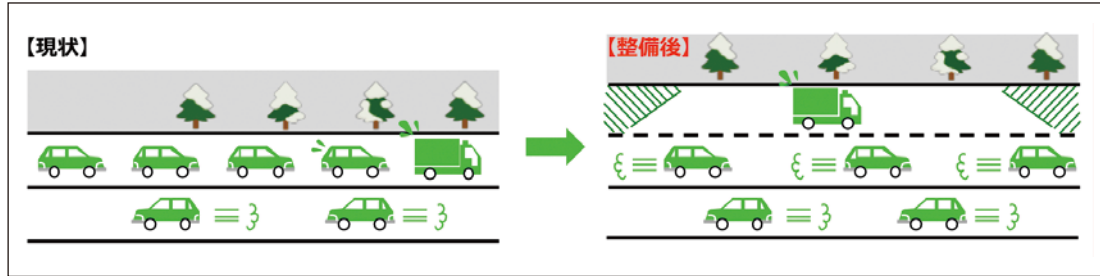
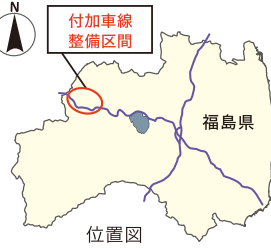
国道49号 付加車線整備事業(柳津町) 冬期間の交通の円滑化及び交通事故の削減を図ります。

現況と問題点

- 1 スタック*車両が発生し、過去に通行止めが発生(H22.12、H24.2、R4.12)
*スタック:雪道で車が動かなくなる状況(スタック発生車両数 H22年度~R4年度 13件)
- 2 急勾配区間が連続するため、低速走行する大型車両等により混雑が発生
- 3 追い越しによる正面衝突事故も発生

付加車線事業の目的

- 目的 1 スタック発生車両の回避や除雪車のスムーズな通行を確保
- 目的 2 低速走行の大型車と乗用車の走行車線を分離することで、円滑な走行を確保
- 目的 3 無理な追い越しなどを抑制



① 藤田地区付加車線整備	② 滝額付加車線整備	③ 菅沢付加車線整備
【福島県河沼郡柳津町大字藤字大田地内】 事業年次:平成27年度~ 事業延長:L=800m 令和6年度は調査設計を推進します。	【福島県河沼郡柳津町大字藤字滝額地内】 事業年次:平成25年度~ 事業延長:L=700m 令和6年度は工事を推進します。	【福島県河沼郡柳津町大字藤字菅沢地内】 事業年次:平成24年度~ 事業延長:L=800m 令和6年度は工事を推進します。

事故ゼロプランの取組み

事故ゼロプランとは…

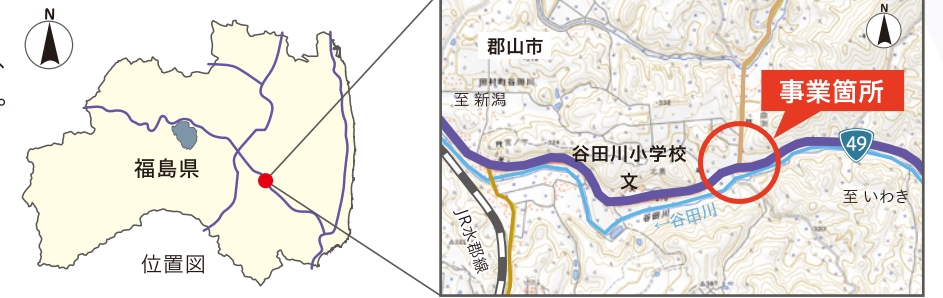
事故の危険性が高い区間などを「事故危険区間」として選定し、県民の皆様にご意見をいただきながら、急ぐべきところから重点的に、事故原因に即した効果の高い対策を実施していくものであります。

○事故ゼロプランのPDCAのマネジメントサイクルのイメージ

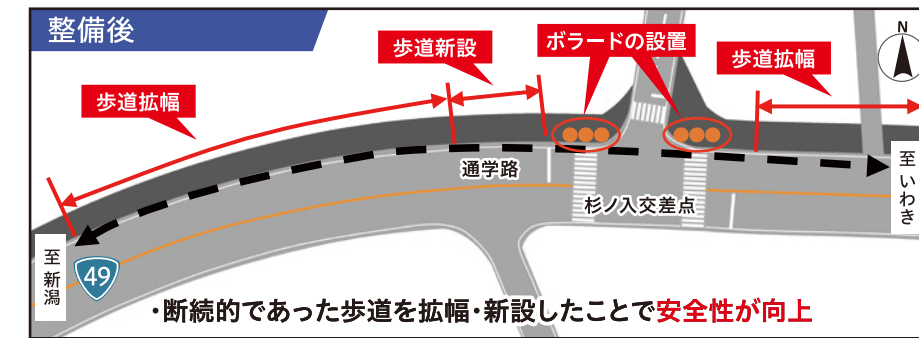


国道49号 谷田川地区歩道整備の整備効果 (郡山市)

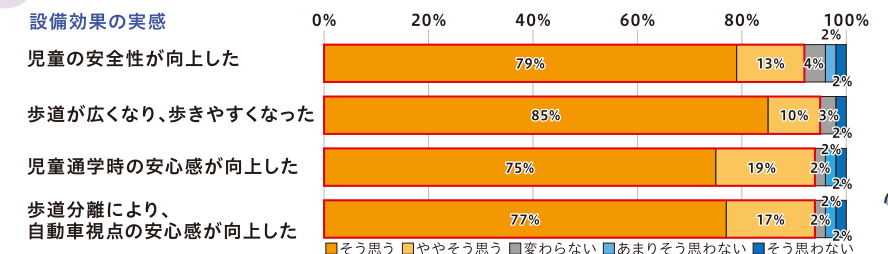
付近に谷田川小学校があり、交安法第3条指定に基づく通学路に指定されているが、一部区間で歩道が未設置の箇所があります。歩道設置及び既設歩道拡幅による通学路の安全確保のため歩道整備を行いました。



郡山市立谷田川小学校指定の歩道狭小・不連続の通学路で、歩道を拡幅・新設(令和4年10月)



整備効果 ■通学児童の保護者の約9割が安全性・安心感の向上を実感



保護者の声

- 以前より危険性を感じていた箇所でしたが、事業により安全な歩道が綺麗に整備されて嬉しいです。
- また、通学児童だけではなく、高齢者の方や自転車も通行する道ですが、安心して通行できるようになったと思います。

※出典: 保護者アンケート調査(R5.1月)

「道の駅」を核とした地域活性化の取組み

「道の駅」は、平成5年に制度を創設して以来、全国各地に広がり、現在1,213の施設が登録されています。近年は、農業・観光・福祉・防災・文化など、地域の個性、魅力を活かした様々な取り組みが進められ「地域の課題を解決する場」に成長してきました。これからの「地域の拠点機能の強化」と「ネットワーク化」を重視し、各省庁とも連携して、様々な施策を展開していきます。

- 道の駅の機能
- 休憩機能 ▶ 24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ
 - 情報発信機能 ▶ 道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報などを提供
 - 地域連携機能 ▶ 文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設

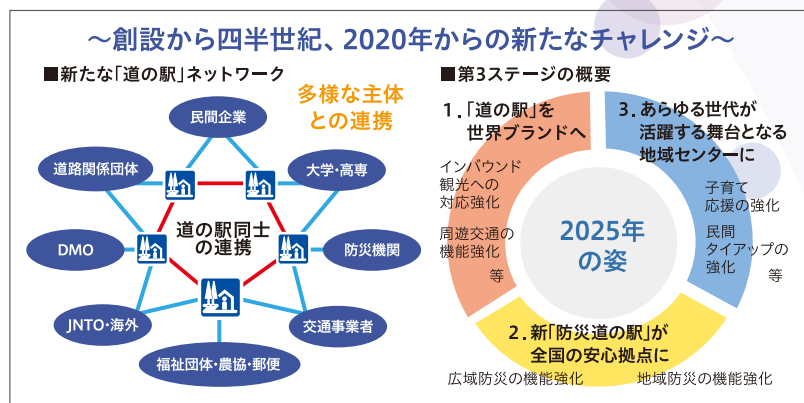
▶ 「道の駅」第3ステージへ

第3ステージ(2020~2025年)

『地方創生・観光を加速する拠点』へ

ネットワーク化で活力ある地域デザインにも貢献

各「道の駅」における自由な発想と地元の人々の熱意の下で、観光や防災など更なる地方創生に向けた取り組みを、官民の力を合わせて加速します。更に、「道の駅」同士や民間企業、道路関係団体等との繋がりを面的に広げることによって、元気に稼ぐ地域経営の拠点として力を高めるとともに、新たな魅力を持つ地域づくりに貢献します。



▶ 福島県内の道の駅一覧

番号	駅名	設置者	路線名	EV充電器	無料公衆無線LAN	番号	駅名	設置者	路線名	EV充電器	無料公衆無線LAN
1	つちゆ	福島市	国道115号	○	○	19	よつくら港	いわき市	国道6号	○	○
2	川俣	川俣町	国道114号	○	○	20	ばんだい	磐梯町	主)猪苗代塩川線	○	○
3	たじま	南会津町	国道121号	○	○	21	ふだの	古殿町	国道349号	○	○
4	安達	二本松市	国道4号	○	○	22	番屋	南会津町	国道352号	○	○
5	喜多の郷	喜多方市	国道121号	○	○	23	季の里天栄	天栄村	国道294号	○	○
6	裏磐梯	北塩原村	国道459号	○	○	24	きらら289	南会津町	国道289号	○	○
7	ならは	楡葉町	国道6号	○	○	25	奥会津かねやま	金山町	国道252号	○	○
8	そうま	相馬市	国道6号	○	○	26	さくらの郷	二本松市	国道349号	○	○
9	はなわ	塙町	国道118号	○	○	27	あいづ湯川・会津坂下	湯川村・会津坂下町	国道49号	○	○
10	会津柳津	柳津町	国道252号	○	○	28	からむし織の里しょうわ	昭和村	国道400号	○	○
11	ふくしま東和	二本松市	国道349号	○	○	29	猪苗代	猪苗代町	国道115号	○	○
12	にしあいづ	西会津町	国道49号	○	○	30	国見あつかけの郷	国見町	国道4号	○	○
13	尾瀬街道みしま宿	三島町	国道252号	○	○	31	いいたて村の道の駅までい館	飯館村	主)原町川俣線	○	○
14	たまかわ	玉川村	(県)福島空港西線	○	○	32	尾瀬檜枝岐	檜枝岐村	国道352号	○	○
15	羽鳥湖高原	天栄村	主)白河羽鳥線	○	○	33	伊達の郷りょうぜん	伊達市	国道115号	○	○
16	南相馬	南相馬市	国道6号	○	○	34	なみえ	浪江町	国道114号	○	○
17	しもごう	下郷町	国道289号	○	○	35	ふくしま	福島市	主)上名倉飯坂線	○	○
18	ひらた	平田村	国道49号	○	○						

▶ 高速道路からの一時退出を可能とする「賢い料金」の実施

■ 道の駅 猪苗代

良好な運転環境を実現するため、高速道路からの一時退出を可能とする「賢い料金」の試行を道の駅「猪苗代」で行っています。

■ 利用条件

- ① ETC2.0*搭載車が対象です。(全行程で同一のETCカードをご利用ください。)
- ② 猪苗代磐梯高原ICでの乗り直しかつ順方向の利用のみ料金措置となります。
- ③ 道の駅「猪苗代」に必ず立ち寄る必要があります。
- ④ 猪苗代磐梯高原IC退出後、2時間以内に猪苗代磐梯高原ICから再流入してください。



一時退出した場合でも、目的地まで高速道路を降りずに利用した場合と、同じ料金に調整します。

安全で安心なくらしを支える

道路管理 人や車にとって快適・安全な道路交通を実現します。

■ 道路巡回

道路を常に良好な状態を保つため、道路パトロールや徒歩による巡回を行っています。道路パトロールは、道路の異状や損傷の把握、路上障害物の発見、排除を行うもので、原則2日に1回実施しています。



路上障害物の排除



穴ばこの簡易的な補修

■ 維持修繕

～いつもの道をいつものように～

交通に支障を及ぼさないように除草、植栽の剪定、橋梁やトンネル、機械電気設備などの点検等を行っています。実施場所や施工時期について沿線市町村や地域住民の方々と調整を図りながら実施します。

[実施項目]



道路清掃



点検



標識設置



除草



剪定

■ 除雪(冬みちの安全確保) ～24時間出動できる体制～

冬期の安全で円滑な道路交通確保のため、除雪と融雪対策を実施します。郡山維持出張所、会津若松出張所が、国道4号の須賀川、国道49号の猪苗代、会津若松、西会津の防災除雪ステーションで24時間出動できる体制を整えています。



車道除雪の状況



歩道除雪の状況

- 除雪：原則5～10cm程度の積雪に達し、さらに続くことが予想され交通の支障となる積雪が見込まれる場合に実施
- 凍結抑制剤散布：路面凍結が予想される場合に実施



集中除雪作業の状況

多数の登坂不能車両発生により交通への支障が生じた場合は通行止めを行い集中除雪作業を行います。

老朽化対策

近接目視による点検

道路構造物の老朽化対策は緊急的・社会的な課題であることから平成26年度からすべての構造物について点検が進められています。令和5年度までの5年間で2巡目の点検が完了し、引き続き3巡目点検を計画的に進めています。



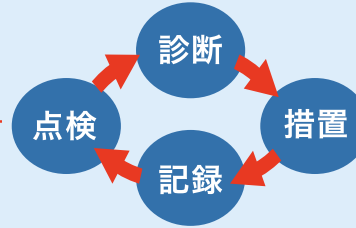
道路付属物（横断歩道橋）近接目視 道路付属物（道路情報板）近接目視



トンネルの近接目視 橋梁点検車による点検

メンテナンスサイクル

- ・補修
- ・経過観察
- ・通行規制など

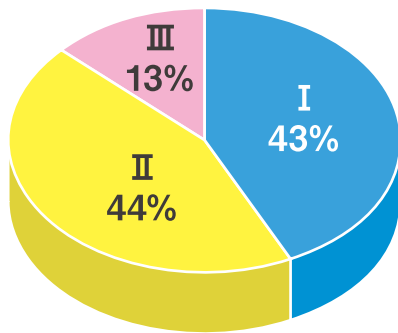


「点検→診断→措置→記録」の業務サイクルを通じて、予防的な保全を進めるメンテナンスサイクルを構築

道路施設の修繕

平成26年度から平成30年度までの1巡目点検において、健全度IV（緊急措置段階）の橋梁はありませんでしたが、健全度III（早期措置段階）の橋梁が34橋確認されています。これらの橋梁を中心に橋梁点検により把握した劣化や損傷状況に対して、計画的に修繕を実施していきます。

■管内橋梁の点検結果 (H26～H30)



区分	状態
I 健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III 早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV 緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

【国道49号二渡橋】



【全桁の腐食状況】

【あて板補修、再塗装】

直轄診断及び修繕代行の事例



三島大橋
所在地: 福島県三島町 橋長: 131m
路線: 町道 宮下・名入線 直轄診断: 平成26年
建設年: 昭和50年 事業完了: 平成28年度



沼尾シェッド
所在地: 福島県下郷町 橋長: 189m
路線: 町道 沼尾線 直轄診断: 平成27年
建設年: 昭和33年 事業完了: 平成29年度

災害に備える 災害対応の機能強化と関係機関との連携に努めています。

■ 危機管理訓練

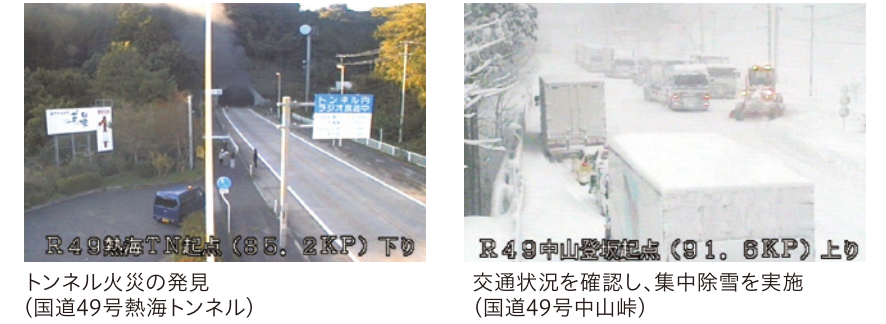
風水害、地震、雪害などの災害発生時に備え、災害対応の機能強化と関係機関との連携に努めています。また、震災発生時における被災状況の迅速かつ的確な伝達及び情報共有などの初動対応訓練を実施し、職員の防災能力の向上を図っています。



総合防災訓練における災害対策支部（事務所災害対策室） 国道49号事前通行規制区間における遮断機訓練（西会津遮断機） 災害対策基本法に基づいた車両移動を伴う現地対応訓練

■ 道路監視カメラによる状況確認

道路監視カメラを用いて、通常の路面状況や工事規制時の安全確認、事故や災害が発生した時にすばやい対応ができるよう、監視しています。



トンネル火災の発見（国道49号熱海トンネル） R49中山登坂地点（91.6KP）上 交通状況を確認し、集中除雪を実施（国道49号中山峠）

■ 各機関との連携

郡山国道事務所では、過去に異常降雪により国道49号で通行障害が発生したことから、関係機関との情報の共有化、情報提供等についての打合せを毎年行っています。



会津地方冬期交通確保連絡打合せ（32機関参加）※令和5年度は未開催 冬用タイヤ早期装着と安全走行を呼びかける街頭広報

建設機械 除雪車など58台配備しています。

■ 建設機械の配備台数（令和6年4月1日現在）



路面清掃車

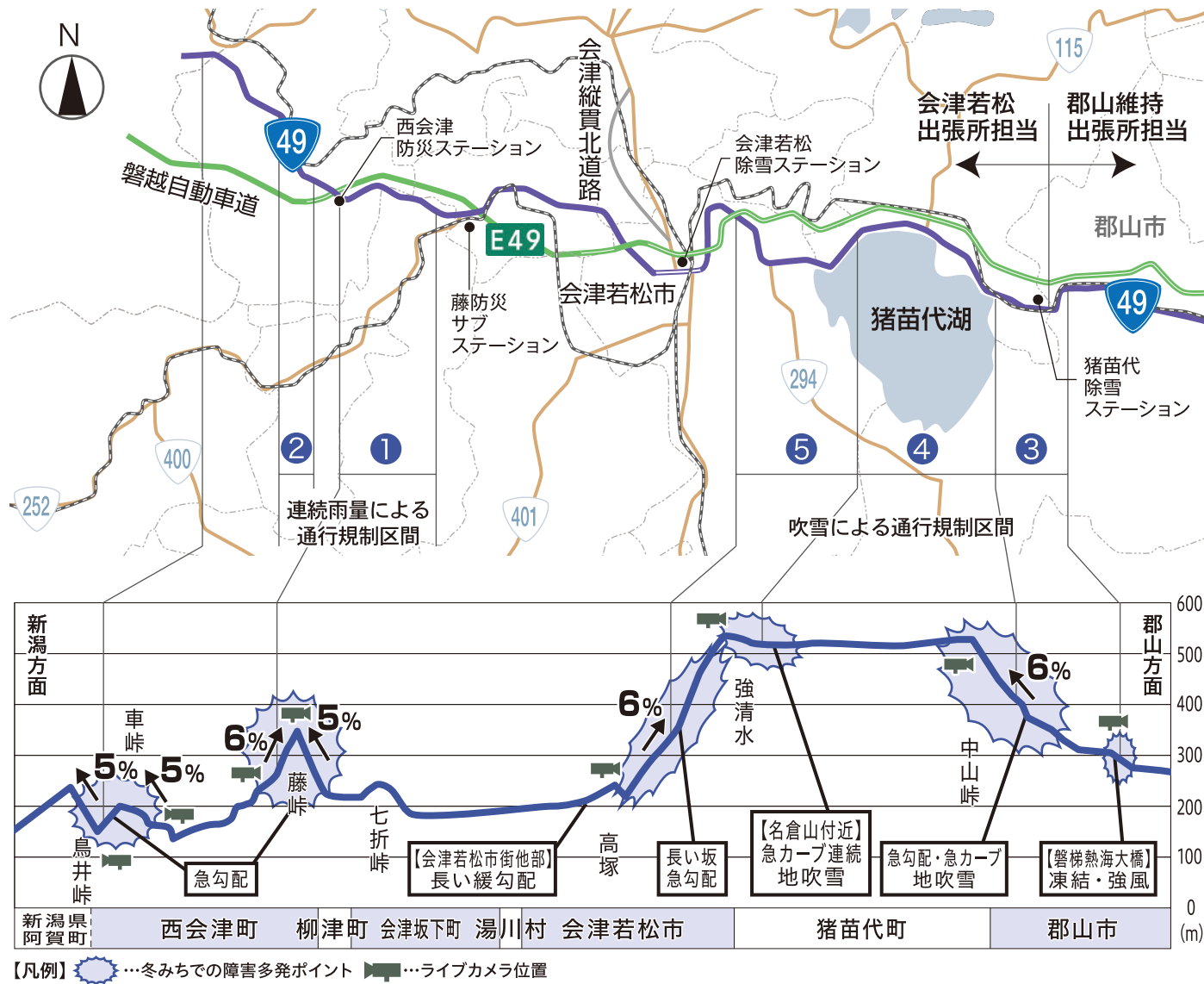
道路上のゴミや土砂を車両中央にあるブラシを回転させて取り除きます。自動車などが走行しやすい様に路面をきれいになります。

除雪トラック

除雪トラックは、ブラウ（半円筒板状の装置）を前面に取り付けたトラックで、高速除雪に適しています。この他に、大きな刃で圧雪を削り取る除雪グレーダや、固まった雪を道路脇へ飛ばすロータリー除雪車などの除雪機械があります。

機械名	規格	郡山維持出張所	会津若松出張所	計
パトロールカー	標識装置付	2	2	4
照明車	2kW×6灯	1		1
側溝清掃車	ロータリプロア式	1		1
散水車	タンク容量4,800L	1		1
路面清掃車	ブラシ式	1		1
除雪トラック	凍結抑制剤散布装置無		3	3
	凍結抑制剤散布装置付		3	3
除雪ドーザ	重量13t級		1	1
	重量14t級	1	2	3
除雪グレーダ	ブレード長4.0m級	3	6	9
	ブレード長4.3m級		4	4
ロータリー除雪車	除雪幅2.2m級		3	3
	除雪幅2.6m級		1	1
歩道除雪車	除雪幅1.0m級		3	3
	除雪幅1.3m級		3	3
小形除雪機	除雪幅0.8m、高出力型		3	3
	除雪幅0.5m		4	4
凍結抑制剤散布車	散布容量2.5㎡級	6	3	9
雪底処理車	バケット式		1	1
計		16	42	58

事前通行規制区間



【凡例】 ●…冬みちでの障害多発ポイント ▲…ライブカメラ位置

■ 通行規制基準

規制区間 (km)				規制区間 (通行止)		危険内容	担当出張所
区	間	距離標	延長	交通量 (R3) (台/日)	気象等基準値		
①	河沼郡柳津町大字藤字古市 ～耶麻郡西会津町野沢字田中甲	151.6～161.1	9.5	5,853	連続雨量 150mm	(テレメーター) 藤雨量観測所	落石等 会津若松
②	耶麻郡西会津町大字上野尻字寺林 ～耶麻郡西会津町大字宝坂字坊ノ前	167.8～173.0	5.2	2,751		(テレメーター) 西会津雨量観測所	

特殊通行規制基準

規制区間 (km)				規制区間 (通行止)		危険内容	担当出張所
区	間	距離標	延長	交通量 (R3) (台/日)	気象等基準値		
③	郡山市熱海町大字中山字西樋ノ下 ～耶麻郡猪苗代町大字山湯字上戸前	90.6～97.6	6.7	10,635	降雪時に概ね 風速12m/sec で吹雪により 視界が阻害さ れ道路交通が 不能になる事 態が予想され る場合	(テレメーター) 中山雨量観測所 猪苗代風速観測所 猪苗代視程観測所	吹雪 郡山維持 会津若松
④	耶麻郡猪苗代町大字山湯字上戸前 ～耶麻郡猪苗代町大字翁沢字長浜	97.6～111.0	13.4	8,127		(テレメーター) 猪苗代風速観測所 猪苗代視程観測所	
⑤	耶麻郡猪苗代町大字翁沢字長浜 ～会津若松市河東町大字八田字村西甲	111.0～120.9	9.9	6,842		(テレメーター) 名倉山雨量観測所 猪苗代風速観測所 猪苗代視程観測所	

防災、減災、国土強靱化

■ 防災・減災

強靱な道路ネットワークの構築に向けて、近年の激甚化した災害や点検手法の高度化等により新たに把握した災害リスクに対する防災・減災対策を推進します。

道路の法面・盛土の土砂災害防止対策

地震や豪雨時に落石・崩壊の恐れのある法面に対し、土砂災害防止対策を実施し、災害発生を未然に防ぐことで、円滑かつ迅速な応急活動を支える緊急輸送ネットワークの確保を図ります。



法面(転石・浮き石)の点検

河川に隣接する道路構造物の流出防止対策

被災により通行止めが長期化する橋梁や道路流出等の災害リスクに対し、洗掘・流失防止対策等の対策工を検討、実施することで、交通障害に対するリスクの低減を図ります。



擁壁(護岸)の点検



対策(ロープ掛け)後の点検



橋脚基礎洗掘の点検

■ 防雪

法面に着雪した雪や降雪により大きくせり出した雪庇が車道へ崩落する恐れのある法面や地吹雪による視程障害が発生する可能性のある区間に対し、対策を検討、実施することで、雪災害による交通障害のリスク低減を図ります。



雪庇発生状況の点検



対策(防雪柵設置)後の点検

無電柱化の推進

都市災害の防止、情報ネットワークの信頼性の向上、都市景観の改善等の観点から都市内の道路にある電線類の地中化の整備を進めます。

無電柱化のメリット

①道路の防災機能の向上

災害時に倒壊した電柱や電線が道路を塞ぐことがなくなり、速やかな救命救急・復旧活動を支援します。

②歩行空間の安全性、快適性の確保

電柱がなくなることで歩行空間が広く確保され、全ての歩道利用者が安心して歩道を通れるようになります。

③良好な景観形成、観光振興

電柱や張り巡らされた電線がなくなることで、すっきりとした美しい街並みが形成されます。

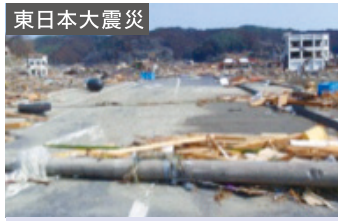
●自然災害による電柱の倒壊

低気圧



国道7号 (秋田県秋田市)

東日本大震災



国道45号 (宮城県南三陸町)

●管内の整備状況

整備前



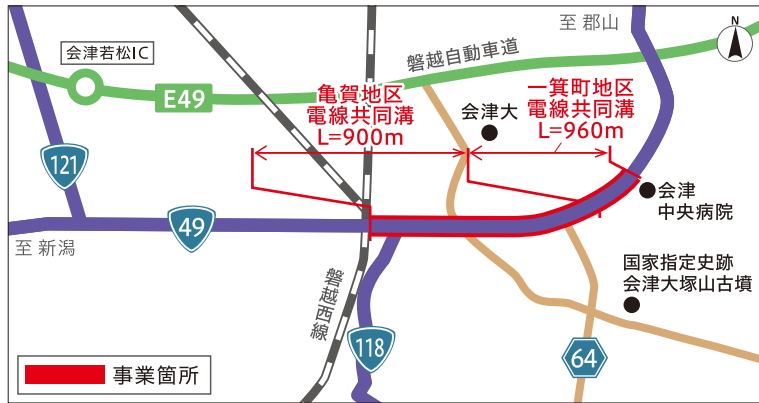
国道49号 亀田地区電線共同溝 (福島県郡山市)

整備後



電線共同溝事業

[会津地区] 会津若松市内で本体工事を推進します。



[郡山地区] 郡山富田地区で調査設計を推進します。

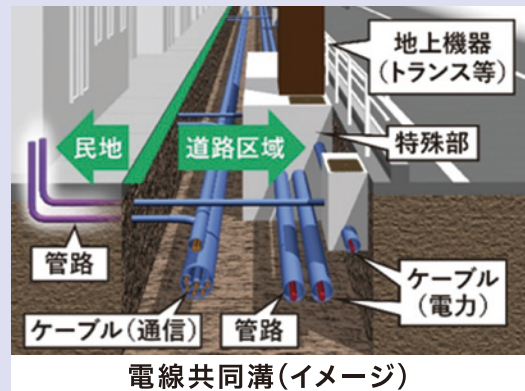


[須賀川地区] 須賀川市大黒町で調査設計を推進します。



電線共同溝方式 (イメージ)

電線共同溝方式は、道路の地下空間を活用して電力線、通信線等をまとめて収納する無電柱化の手法です。沿道の各戸へは地下から電力線や通信線等を引き込む仕組みになっています。



国道49号 亀田地区電線共同溝事業箇所付近

地域への防災対策の取組み

災害対策支援

災害発生時、被災した全国の地方公共団体等へ国土交通省職員を派遣し、被災地状況調査、被災状況の情報伝達や技術的応急対策支援等により自治体への支援を行います。

緊急災害対策派遣隊 (TEC-FORCE)

■ TEC-FORCEの活動内容

郡山国道事務所管内の災害対応のほか、大規模自然災害に際し、被災地方公共団体等への被災状況の迅速な把握や早期復旧その他災害応急対策に対する技術的な支援、災害対策用機械による応急復旧支援等を目的とし、TEC-FORCE隊員を現地に派遣します。

※テックフォース:

Technical Emergency Control FORCE



町道の被災状況調査



土砂崩れの被災状況調査

【令和6年能登半島地震 (石川県)】

令和6年1月1日に能登半島で発生した地震により甚大な被害を受けた石川県穴水町へ職員を派遣し、町内の県道や町道などの被災状況調査等による技術的な応急対策支援を実施しました。



穴水町職員と打合せ



町道の被災状況調査

緊急災害対策現地情報連絡員 (リエゾン*)

■ リエゾンの活動内容

大規模災害が発生又は発生のおそれがある場合に、自治体の災害対策本部等に職員を派遣し、被災状況の情報収集及び当該地方整備局等の災害対策本部に伝達するほか、地方整備局からの情報やTEC-FORCE等の支援メニューの提供など、災害支援活動の連絡調整等自治体との太いパイプ役となり活動します。

※リエゾン: 災害対策現地情報連絡員 Liaison, 「仲介、橋渡し等」という意味のフランス語



災害対策本部 (白河市)

【令和元年10月発生台風19号】

令和元年10月発生した台風19号による災害では、福島県内の自治体へ(福島県、郡山市、玉川村、白河市、矢吹町、矢祭町)職員を派遣し、被災状況の把握や必要な支援の情報収集、及び提供を行うなど、各支援機関との連絡調整を実施しました。



テックフォースの支援内容説明



現地情報収集